

アメリカへやってきて早くも1ヶ月。僕の周りの変化や僕自身の変化について、これからの抱負を今回のレポートで記述致します。

変化した事は数多くありますがその中でも特に大きな変化だと言える事柄は3つあります。

1つ目は女の子が沢山いる点です。高専では前を見ても男、横を向いても男、四方八方がむさ苦しいオス共に囲まれており、普通の高校生みたいな「Lineしてデートして毎日楽しい(^-^)」みたいな甘い甘い学生生活とは無縁の塩辛い毎日を過ごしておりました。しかし僕が通っているNormal Community High Schoolでは可愛い女の子がたくさん存在し、可愛い女の子から連絡先を聞かれ毎晩チャットをするなどとても楽しい日々を送っています。何故自分がこの様な素晴らしい学生生活を過ごせているのか自分でもわかりません。

2つ目は独り言と頭の中の言語が英語と日本語ミックスになった点です。出国前に留学していた先生達からは「寝言と独り言と頭の中の言語が英語になるよ」と言われましたが僕は何を言ったと、全くその言葉については信用してませんでした。しかしまだたったの1ヶ月ですが僕の独り言などは英語になりました。例えば日本にいた時僕はペンをなくしたとき「あれれ、ペンどこだ？」などと呟いていましたがこちらでは何故か日本語を使わず「where is my pen...?」などの完璧な英語ではありませんが自分の使える英語で反射的に呟いてしまう様になってしまいました。語学力の向上というのは自分ではよくわからないものですがこれは進歩と呼べるのではないのでしょうか。しかしながら足をぶつけたときなどに出る言葉は「ouch」などではなく「痛え！！！！」なのでここはまだ改善の余地有りということでこれから先9ヶ月に期待です。

3つ目はアメリカに対するイメージです。僕は半年位前にLAへ一人旅をしました。そのときにLAの人をみて「とてもお太りの方が4割位いるな」、「美味しいソーダとヘルシーじゃない飯ばかり食ってる」などのとても失礼なイメージを持っていました。（実際僕だけでなく日本人のアメリカ人に対するイメージはこんな感じだと思います。）しかし、1ヶ月滞在してみて僕の住んでいるイリノイ州ブルーミントンでは極端にお太りの方は数人くらいしか見ませんでしたし、毎日毎日ヘルシーじゃないご飯を食べてるわけではありませんでした。確かにアメリカの炭酸飲料は本当に種類もたくさんありとても美味しいものばかりですし、週に一度位はハンバーガーなどの「ジャンクフード」を食べます。けれども普段はホストマザー、ホストファザーが作ってくださる庭で採れた野菜などをふんだんに使用したとても美味しい健康的な食事をとっています。僕の持っていたイメージの180度とまでは言えませんが135度位違ったイメージを今は持っています。

以上の3点がこちらへ来て特に変わったと言えることです。

正直自分では気張って頑張る必要はないと思っています。自分らしくゆっくり自分のペースで自由の国アメリカに馴染んでいきたいと思っています。こうして僕が自由に過ごせるのもホストファミリー、友人、そして日米姉妹都市委員会のサポートのお陰です。これからの僕の進歩にご期待下さい。以上第一回報告書でした。

岡崎 汰生